

声優芸能科 俳優養成コース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	課題台本ゼミナールⅡ	68	2	4
講義	身体感情表現Ⅱ	68	2	4
講義	ヴォーカル基礎知識Ⅱ	68	2	4
講義	音声技法Ⅱ	68	2	4
実習	ダンス応用	68	2	2
実習	映像演技Ⅱ	68	2	2
実習	ヴォーカルⅡ	68	2	2
演習	ミュージカル/2.5次元ゼミナール	68	2	4
演習	スタジオワーク	68	2	4
演習	演技ゼミナール（選択）	68	2	4
演習	表現パフォーマンスⅡ（選択）	68	2	4
講義	声優基礎Ⅱ（選択）	68	2	4
講義	俳優基礎Ⅱ（選択）	68	2	4
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
合計		952	30	48

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義		必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ		年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位		
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース							
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目						該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴								
授業概要								
著作物の定義や著作権の権利及び著作権隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。								
到達目標								
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。								

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解する 著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作権接権の内容について理解する ① 著作権接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 18～20回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ 【作文作成&提出】
【後期】 21～24回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リクープラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 25～27回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 28～30回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 31～34回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。 JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	課題台本ゼミナールⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修	
	学則別表上表記	課題台本ゼミナールⅡ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で産まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴15年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①文章の読解力、分析、構成。 ②課題戯曲の読み解き。 ③舞台作品の創作。						
到達目標						
・自分に課せられた台詞を入れるということを理解する。 ・作品を分析、構成を理解する力をつける。 ・俳優に必要なコミュニケーション力と柔軟性を獲得しする。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる) ・脚本、創作意図を理解、解釈し、演技で表現する。 ・一つの作品を創作し、卒業公演として上演する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・空間を意識した発声と柔軟、インプロ、エチュード(年間で継続的に実施) ・台詞を音として意識する。 ・卒業公演に向けて企画ディスカッション
【前期】 4～7回目	・実生活に基づいた演技と再現性をエチュードを通して体感する。 ・国内戯曲読み合わせ、戯曲読解。(卒業公演作品選定)
【前期】 8～10回目	・卒業公演の作品決定 ・卒業公演創作:6/20(金)からの開始を目標とする。
【前期】 11～13回目	・卒業公演創作 ■前期テスト:夏休み中に卒業公演戯曲の分析、試験当日レポート記入と発表。
【前期】 14～17回目	卒業公演創作
【後期】 18～20回目	卒業公演創作
【後期】 21～24回目	卒業公演創作
【後期】 25～27回目	卒業公演創作
【後期】 28～30回目	卒業公演創作 ■後期試験:卒業公演リハーサル完成度をみる。
【後期】 31～34回目	卒業公演創作 ■卒業公演 実施日:2月中予定
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 /コミュニケーション/身体表現/言語化/完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一つの作品を観客に発表するまでには、たくさんの人々がそれぞれ専門とする仕事を集結させます。表方はそのなかの一つの役割です。 声優、舞台俳優、映画俳優といったカテゴリーに関わらず、演じることで表現する職業を目指すにあたり、実際に作品を創作し、本番を体験することで、自分がどんな俳優・声優になっていくのかを考えていきましょう。
備考	この講座は必ず動きやすい服装で参加してください。 ヒール不可。(履き替えられるものをご用意ください)

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	身体感情表現Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	身体感情表現Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で産まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴15年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①基礎の向上と、身体コントロール。 ②関係性を表現する演技プラン ③台詞を音として捉える、反応する演技を意識する。						
到達目標						
・基礎において1年次に到達できなかった点を分析し到達する。 ・呼吸と体幹のコントロール(スローモーションやタイガーウォーク等・年間で継続的に実施) ・空間を意識した発声(年間で継続的に実施) ・俳優に必要なコミュニケーション力と思考方法を獲得する。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる) ・脚本の読み解きに応じた演技方を考える。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・空間を意識した発声と柔軟、インプロ、エチュード(年間で継続的に実施) ・呼吸と体幹のコントロールするための訓練(スローモーションやタイガーウォーク・年間で継続的に実施) ・資料映像を使い、表現の違いを分析する。
【前期】 4～7回目	・名詞、形容詞、ト書きから戯曲の成り立ちを考える。戯曲読解。(卒業公演作品選定) ・振り落とし、フォーメーション把握から、立ち方を学ぶ。(ダンス実習) ・国内戯曲読み合わせ、戯曲読解。(卒業公演作品選定)
【前期】 8～10回目	・国内戯曲読み合わせ、戯曲読解。(卒業公演作品選定)
【前期】 11～13回目	・卒業公演創作 ■前期テスト:課題テキストの短期創作と試演
【前期】 14～17回目	・卒業公演創作
【後期】 18～20回目	卒業公演創作
【後期】 21～24回目	卒業公演創作
【後期】 25～27回目	卒業公演創作
【後期】 28～30回目	卒業公演創作 ■後期試験:俳優としての創作現場での取り組みで評価する
【後期】 31～34回目	卒業公演創作 ■卒業公演 実施日:2月中予定
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 /コミュニケーション力/身体表現/演技力/完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	演じるという行為は、日々の生活の中で意識的・無意識的に行われています。しかしそれを再現し、自身の肉体や言葉を作品として起していく作業には、考える力とそれを他者に伝える言語化能力、コミュニケーションが必要です。 この授業では、様々な表現力を獲得するための思考力と作品への理解力を高め、他者に伝わる表現の基礎を獲得しましょう。
備考	この講座は必ず動きやすい服装で参加してください。 ヒール不可。(履き替えられるものをご用意ください)

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル基礎知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	ヴォーカル基礎知識Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■ 声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	3人組のボーカルユニット“post”を結成しアルバム“love”をリリース。グループ脱退後はR&B、POPSのソロアーティストとして九州、東京を拠点に活動。ミニアルバム“Darkness into light”をリリースし様々なステージに立つ。ヴォーカルディレクターとして楽曲提供や様々なアーティストのレコーディングに参加。プロシンガー・アイドル・KPOP養成所などで講師を勤めている。					
授業概要						
1年次からの発声をさらに確立させる。身体を共鳴させる、自らコントロールすることを確立させる。 リズムに着目し、グループにのせての歌唱レッスン。表現力up。自分にしか歌えない歌をめざす。						
到達目標						
・音量、音域を発展させる。 ・身体、頭部、表情筋の使い方 ・無理のない自身の声をみつける。 ・楽曲の理解、グルーブの理解。 ・歌詞の内容の理解～自らの表現に繋げる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎発声の復習、確認。実力チェック。
【前期】 4～7回目	イメージトレーニング。グルーヴの違い。コード感と感情の繋がり。
【前期】 8～10回目	グルーヴに乗せて発声。身体を使って声でグルーヴを出す
【前期】 11～13回目	楽曲を使って、発声とグルーヴを徹底練習。
【前期】 14～17回目	前期の総まとめ、復習。試験による各項目の修得度チェック。
【後期】 18～20回目	楽曲を使って物語をイメージ、それに基づき自身の歌唱につなげる。
【後期】 21～24回目	イメージした声色の実現練習。
【後期】 25～27回目	自由曲の選曲の仕方。オーディションやコンテストへ繋げる
【後期】 28～30回目	楽曲のクオリティーアップ(発声、グルーヴ、表現力、パフォーマンス力)
【後期】 31～34回目	楽曲のクオリティーアップ(発声、グルーヴ、表現力、パフォーマンス力)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 実声 / 響鳴 / 感情表現 / 歌唱テクニック の理解」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	正しい発声を身に付けるには、毎日の地道な練習の積み重ねが必要です。共鳴を習得する事で、楽に歌う事が可能になり、表現力にも繋がっていきます。個人の良さを伸ばし、未熟な箇所を底上げできるようにがんばりましょう。
備考	必要に応じて、CD等を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音声技法Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	音声技法Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①1年次に引き続き、プロとしての発声・発音・標準語のアクセントの徹底をさせ、普段から使いこなせることを基本とします。 ②自身が持つ言葉のイメージを膨らませて表現する為に、レッスン課題の徹底や個人レベルに合わせた取り組み課題を積み上げていく。 ③声優に必要な言葉・感情の表現を研究する習慣を身に付ける。						
到達目標						
・個々にあった発声・発音の徹底。 ・イメージを形にする基礎を身につける。 ・話している音を、客観的に聞き分けられるように感覚を養う。 ・冷静に「音・感情・読み方・演技方」などの自分の良さを見られる力をつける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・個人レベルチェック ・発声、発音基礎訓練・身体づくり ・個人課題克服練習
【前期】 4～7回目	・発声、発音基礎訓練 ・身体づくり ・個人課題克服練習
【前期】 8～10回目	・発声、発音基礎訓練 ・身体づくり ・個人課題克服練習
【前期】 11～13回目	・オーディション対策 ・発声、発音基礎訓練・身体づくり継続
【前期】 14～17回目	・発声、発音基礎訓練 ■前期試験:実技、筆記(基礎確認)
【後期】 18～20回目	・発声、発音基礎訓練・身体づくり ・個人課題克服練習
【後期】 21～24回目	・個人レベルチェック ・発声、発音基礎訓練・身体づくり ・個人課題克服練習
【後期】 25～27回目	・個人レベルチェック ・発声、発音基礎訓練・身体づくり ・個人課題克服練習
【後期】 28～30回目	・個人レベルチェック ・発声、発音基礎訓練・身体づくり ・個人課題克服練習
【後期】 31～34回目	・発声、発音個人課題振り返り ・個人レベルUP に取り組む
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /言葉の基礎力 /課題への取り組み/応用表現力/研究心」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声、発音の基礎の徹底を行います。体をしっかりと作り、演技に幅を持たせられるよう声を鍛えていきます。週に一度のレッスンでは身につけません。普段から取り組みましょう。
備考	・「日本語の発声レッスン」 ・「アクセント辞典」 を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	殺陣パフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	ダンス応用	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■ 声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡を拠点に幅広いダンスジャンルで活躍中。2013年より某アーティスト専属バックダンサーを経て、AKB48、湘南乃風、倉木麻衣らと共演。現在はPVやCMIに出演し、またミュージカル「刀剣乱舞」にも参加している。殺陣、バックダンサー、ミュージカルダンサー、振付師、ディレクターとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①舞台やミュージカルに必要なアクションや殺陣の応用を学びます。 ②身体を使い音楽と組み合わせて、体験的に演技を学んでいきます。 ③フォーメーションダンスと演技の融合にも取り組みます。					
到達目標					
・1年次の基礎をふまえ、さらに体を鍛え、個性を発揮できるようになる。 ・個と集団での自分の責任を認識し、集団創造である舞台に立てるよう、協調性を養う。 ・殺陣やアクションの応用を身につけ、フォーメーションでの動きを共演者と合わせる技能を習得する。 ・感覚・思考・体験を身体・言語で表現できるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・身体能力チェック及び基礎能力トレーニング ・行動と知覚と思考について
【前期】 4～7回目	・殺陣※ビートの決まった音楽に合わせて ・フォーメーションダンス ・舞台的動作の訓練(視線・体勢・開き)
【前期】 8～10回目	・殺陣※ビートの決まった音楽に合わせて② ・殺陣小作品①
【前期】 11～13回目	・殺陣小作品②→ライブウィーク発表
【前期】 14～17回目	・ミュージカルアクション小作品① ■前期試験: 間合いによる基本殺陣と音に合わせた殺陣演舞の発表。
【後期】 18～20回目	・殺陣基本動作の復習 ・ミュージカルアクション小作品②
【後期】 21～24回目	・ミュージカルアクション小作品③ ・各自の課題点の洗い出し及びフィジカルトレーニング
【後期】 25～27回目	・ミュージカルアクション小作品④ ・繰り返し撮影し都度フィードバック・フォーメーション、タイミングの確認
【後期】 28～30回目	・ミュージカルアクション小作品発表会→ライブウィーク発表
【後期】 31～34回目	■後期試験: 10～30分の殺陣、ミュージカルアクションや自己表現の発表。 一年間の振り返り
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 身体の言語化 / 集団創造力 / 体験の言語化 / 脚本理解力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	殺陣やアクションだけでなく、演技、ダンス、そして音に合わせて舞う演舞と演武を混ぜた表現ができるようにトレーニングしていきます。決められた振り付け、フォーメーションの中でキラリと光る自己表現ができるよう頑張ってください！
備考	都度楽曲CDを使用。また小道具として、殺陣用刀・竹刀・帯・その他を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	映像演技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	映像演技Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■声優芸能科 俳優養成コース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	俳優歴8年。舞台、CM、ドラマ等多数出演。また所属劇団の広報用映像の制作、編集を自身で行うと共に、ゲーム会社のCM編集、YouTuberの動画編集の依頼を受けるなど映像クリエイターとしても活動。その経験を活かし実践指導を行う。						
授業概要							
舞台と映像の共通点と違いを学ぶ。 映像のカメラワークを学びながら動き(移動・立ち位置)から感情表現(表情・動作)を学んでいく。							
到達目標							
映像でしか表現できない微妙な台詞回し、表現の変化など所作も含めて、様々なカメラワークに対応できるようになる。							
授業計画・内容							
【前期】 1～4回目	撮影実習。舞台と映像の共通点と違い。						
【前期】 5～8回目	撮影実習。カメラワークを意識しての演技。						
【前期】 9～12回目	撮影実習。カメラを通してみる自分の顔・動作の確認。						
【前期】 13～16回目	撮影実習。喜怒哀楽を何パターンか繰り返し、表現を豊かにする。						
【前期】 17～19回目	撮影実習。学んだことを振り返りつつ、一步レベルが進んだものに挑戦する。						
【後期】 20～23回目	撮影実習。課題の台本に沿って台詞を言いながら、表現を少しずつ変化させていく。						
【後期】 24～27回目	撮影実習。複数のカット割での撮影を繰り返しても同一の演技を繰り返す練習。						
【後期】 28～31回目	撮影実習。カメラ撮影なども体験し、スタッフの仕事を理解した上で、座組の一員として作品に携わっている意識を育てる。						
【後期】 32～35回目	撮影実習。役者同士の掛け合いなど、よりレベルの高い撮影を行う。						
【後期】 36～37回目	撮影実習。演技の難易度の高い撮影に挑戦し、実際の現場でも通用するレベルの演技を目指す。						
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「演技の再現性/表情/しぐさ/発声/コミュニケーション」の5項目の到達度を総合的に評価する。						
学生へのメッセージ	映像の現場では、スタッフさんとのチームワーク、撮影したものが編集されることを前提とした演技など、求められるものも多いです。しかししっかりスキルを身につけることが出来れば、その後のキャリアに繋がっていきます。現場に出ても恥ずかしくないように、一緒に学んでいきましょう。						
備考	その都度必要や資料や台本、コンテなどを使用						

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	ヴォーカルⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	鍵盤弾き語り、シンガーソングライター。 The 8th Music Revolution Hi-Gain大会、V3新人オーディション20th、など、多数のオーディションでグランプリ、ファイナリストに選出される。 2016佐賀年気球世界選手権、TV CM、企業CM、短編映画、への楽曲提供なども行なっている。					
授業概要						
様々なジャンルの楽曲を課題曲とし、チェストボイスやファルセットで歌えるようにする。また、ステージパフォーマンスも同様に学ぶ。						
到達目標						
アニソンやJ-popで発音や伝えるスキルの向上。 ミュージカルソングで表現力を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ヴォイストレーニング・音楽理論の復習
【前期】 4～7回目	課題曲① 発声・リズム・呼吸・音域チェック
【前期】 8～10回目	課題曲② リズムの解釈・リズム取りの応用
【前期】 11～13回目	課題曲③ さらなる音域の拡大・豊かな歌声を目指す発声練習
【前期】 14～17回目	・課題曲の歌唱 ■前期試験：前期内容の理解力テスト及び実技試験
【後期】 18～20回目	課題曲⑤ ・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化①
【後期】 21～24回目	課題曲⑥ ・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化②
【後期】 25～27回目	課題曲⑦ ・詩の持つ力を読み解く
【後期】 28～30回目	・課題曲 ■後期試験：後記内容の理解力テスト及び実技試験
【後期】 31～34回目	課題曲⑨
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「音程/リズム/発音/表現力/パフォーマンス力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	卒業後にも役立つスキルを身につけて、他ジャンルの楽曲を歌いこなせるようになりましょう
備考	自由曲・課題曲楽譜等

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	舞台公演実習		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	ミュージカル2.5次元ゼミナール	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①作品製作を従軸とした授業を行う事で、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の目線を意識した演技を習得していきます。また、実際にテクニカルチームと制作する事でよりクオリティの高い作品作りを目指します。②年間2本の舞台公演を実際の劇場で行う事により舞台制作における、役者としての立ち居振る舞いやテクニカルスタッフの動きなど学び、様々な方面から作品制作との関わり方を学んでいきます。					
到達目標					
・役作りはもちろんのこと、作品内での自分の役回りや、ポジション、立ち位置など総合的に作品に関わる事の出来る役者を目指す。 ・歌唱や身体表現など、舞台上で魅せる為の技術を身に付ける ・テクニカルの方々と共に制作する事により、舞台上での裏表での立ち振る舞い方を考える。 ・自身の役が作品上どのような立ち位置で、ダンス、殺陣、歌唱が作品内でどのような演出効果を産むのかを考えられる役者となる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎練歌唱レッスン(基礎練は全期通して行う)
【前期】 4～7回目	・ミュージカルの発声方法 ・作品制作①
【前期】 8～10回目	・ミュージカルの所作①基本の立ち方、連続した動き ・作品制作②
【前期】 11～13回目	授業内舞台発表① フィードバック
【前期】 14～17回目	・後期制作準備 ■前期試験:課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
【後期】 18～20回目	・ミュージカルの所作② ・ミュージカル制作①
【後期】 21～24回目	・衣装着付け ・ミュージカル制作②
【後期】 25～27回目	・ミュージカルの所作③コメディ・リリーフ ・ミュージカル制作③
【後期】 28～30回目	授業内舞台発表会② フィードバック
【後期】 31～34回目	■後期試験:課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する実技試験により「平常点/読解力/表現力/歌唱力/空間把握」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今、各事務所が自社タレントを舞台に出演させたがっています。また、ミュージカル作品は熱良い人気を保っています。だからこそ全体的なレベルも高くなっていますし、役者に求める実力も高くなっています。需要が高い分野において自分がどのようにアプローチしていくのか、年2回の舞台発表をしていきつつ、この1年間で見つけていきましょう。
備考	都度用意した原稿・戯曲・CDを使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス応用		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	スタジオワーク		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■ 声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	2014年より芸能事務所でアイドルや俳優の育成、ダンススタジオ等でダンス講師をしながら、海外でのTV番組メインダンサーでの出演、CM・企業PV出演など、ダンサーとしてアーティスト活動を行う。					
授業概要						
・ストレッチ・筋トレ 身体作り ・基礎トレーニング(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン) ・振り付け・踊ってみた・コレオグラフ						
到達目標						
・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。 ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。 ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。 ・流行りのダンスをコピーしダンスのトレンドを理解する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	姿勢/アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(可愛い系)
【前期】 5～8回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(ストリート系)
【前期】 9～12回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(カッコイイ系)
【前期】 13～16回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(JAZZ系)
【前期】 17～19回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(発表会)
【後期】 20～23回目	ベーシック強化アイソレーション編/踊ってみた(可愛い系選択)
【後期】 24～27回目	ベーシック強化プリエ、ターン編/振り付け(JAZZ系)
【後期】 28～31回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(カッコイイ系選択)
【後期】 32～35回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。
【後期】 36～37回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。(発表会)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「基礎体力 / プリエ・ターン / アイソレーション / 振り付け / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされたいと思います。 表現者として実りのある授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	4回に一回程度、衣装を合わせて撮影しコンスタントに本番を経験していきます。 機会があればステージでのクラスも検討しています。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	演技ゼミナール		授業形態 / 必選	演習	必修	
	学則別表上表記	演技ゼミナール		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■ 声優芸能科 俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で産まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴15年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
①1年で得た基礎の向上と、自己分析を表現に繋げる。 ②映像・舞台作品の創作と鑑賞。 ③国内外の戯曲を使って、分析、構成を理解する力をつける。						
到達目標						
・1年次で行った基礎トレーニングとフィジカル面を向上させ、俳優に必要な体力を身につける。(年間で継続的に実施)。 ・授業外(創作現場外)での準備、自主創作や稽古の方法を知る。 ・俳優に必要なコミュニケーション力と柔軟性を獲得する(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる)。 ・自分なりのテキストの読み方、思考力を獲得する。 ・なるべく多くの作品に読む・観る・演ずる形で触れ、様々なキャラクターを演じられる基礎を築く。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・1年次で獲得した基礎トレーニングの復習 ・様々なタイプの戯曲に触れる。 ・テキストへの正確性を上げる。
【前期】 4～7回目	・短期間での作品創作 ・詩・短歌などを使った戯曲にはない文章作品の表現
【前期】 8～10回目	・国内作家による会話劇(不条理劇に触れる)①(別役実)
【前期】 11～13回目	・国内作家による会話劇②(『楽屋』清水邦夫) ・『楽屋』劇中に登場する『かもめ』アントン・チェーホフを読む(現場以外での俳優としての準備を経験する)
【前期】 14～17回目	・映像作品鑑賞と分析 課題作品 『聖杯たちの騎士』テレンス・マリック監督作品
【後期】 18～20回目	・近代能楽集:三島由紀夫を読む ・『葵上』の長台詞の表現(実生活の口語から離れた表現)
【後期】 21～24回目	・国内作家による会話劇③(岸田國士) 課題作品『恋愛恐怖症』
【後期】 25～27回目	・一人芝居の創作を通じて、演技プランの構築を学ぶ。 課題作品『売り言葉』 野田秀樹作
【後期】 28～30回目	・一人芝居の創作を通じて、演技プランの構築を学ぶ。 課題作品『売り言葉』 野田秀樹作
【後期】 31～34回目	・一人芝居の創作を通じて、演技プランの構築を学ぶ。 課題作品『売り言葉』 野田秀樹作
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 /言語化/演技力/客観性/完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	俳優という職業は、脚本や演出、監督の言葉だけを材料とするのではなく、自分でイメージした演じ方を表出させるための自己分析力が必要です。なるべく多くの戯曲に触れながら、実践的に作品を創作し、提案力のある俳優を目指しましょう。また、創作現場外での準備、自主創作・稽古への取組みと考え方を身に着けていきましょう。
備考	課題テキストが多い授業となります。事前に読むなどの準備を必ず行ってください。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	滑舌・アクセント強化		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	表現パフォーマンスⅡ		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、外画「ザ・バシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①基礎発声、呼吸、体の使い方を学んでいく。					
②滑舌、標準語アクセントの習得。					
到達目標					
・俳優として仕事ができるレベルの発声を身に着ける。					
・誰が聞いても明瞭な滑舌の習得。					
・標準語の知識を身に着け、実践できるようになる。					
・長台詞でも対応できるパフォーマンスの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・呼吸法 ・基礎発声 ・リラックス
【前期】 4～7回目	・五十音＋濁音、半濁音、拗音、促音
【前期】 8～10回目	・標準語のアクセント ・母音の無声化、鼻濁音
【前期】 11～13回目	・舞台上の発声(スケール)
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技(課題台本)
【後期】 18～20回目	・動きながらの発声(ぶれない発声)
【後期】 21～24回目	・台本実習(戯曲抜粋)
【後期】 25～27回目	・台本実習(一人芝居)
【後期】 28～30回目	■後期試験:実技(課題台本)
【後期】 31～34回目	・振り返り、可不可の確認
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声 / 滑舌 / アクセント / 表現 / 伝達力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	どんなに感情が伴っていても、声が届かなければ、何を言っているのか分からなければ伝わりません。 劇場の規模に関わらず、お客様に言葉が届く技術を身に付けていきましょう。 方言は忘れなくてもいいですが、標準語はちゃんと喋れるようになりましょう。
備考	その都度準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	声優基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	声優基礎Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■ 声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として15年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。					
授業概要						
トークの技術を磨きながら、役者としてトークイベント等に出演した際の表現方法の応用を学ぶ。 また、自己PRや面接での表現方法などを体系立てて学習する。都度録画し、プレイバックしながら実践形式で学ぶ。						
到達目標						
・外部に向けた話し方、自己表現の仕方を身につける。 ・トークイベントやトーク番組に出た際の自身の表現方法を実践形式で模索する。 ・フリートークだけでなく、自己PRや面接での質疑応答など幅広い意味での「人対人」の対応力を高める。 ・表情や、声のトーン等、自身の理想の表現を確立する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自己表現トレーニング① 客観的な視点で自身の強みを探し、分かりやすく伝える方法を学ぶ
【前期】 4～7回目	自己表現トレーニング② 自己表現を行動・認知・感情の面から理解する
【前期】 8～10回目	自己表現トレーニング③ トークイベント等を想定した実戦形式のテーマトーク
【前期】 11～13回目	質疑応答トレーニング① 相手の質問意図をくみ取り答えることについて体系立って学ぶ
【前期】 14～17回目	■前期試験:質疑応答&テーマトーク/撮影後フィードバック 質疑応答&テーマトークの振り返り
【後期】 18～20回目	質疑応答トレーニング② 応答の速さ、質を上げる反復トレーニングを行う
【後期】 21～24回目	オーディション対策・模擬面接/撮影後フィードバック
【後期】 25～27回目	オーディション対策・模擬面接/撮影後フィードバック
【後期】 28～30回目	トーク企画考案
【後期】 31～34回目	■後期試験:トーク企画実践/撮影後フィードバック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「トーク技術/表現力/構成力/対応力/創造力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	話し方やテンポ、声量など自身の理想により近づけるためには、現時点の自身の表現力を認識した上で様々な事に取り組む必要があります。 撮影した映像をしっかりと確認し改善点を模索しながら理想の表現を実現させましょう。
備考	都度用意した原稿を使用

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	俳優基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	講義 選択		
	学則別表上表記	俳優基礎Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として15年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。					
授業概要						
トークの技術を磨きながら、役者としてトークイベントやバラエティ番組に出演した際の表現方法の応用を学ぶ。 また、自己PRや面接での表現方法などを体系立てて学習する。都度録画し、プレイバックしながら実践形式で学ぶ。						
到達目標						
・外部に向けた話し方、自己表現の仕方を身につける。 ・トークイベントやバラエティ番組に出た際の自身の表現方法を実践形式で模索する。 ・フリートークだけでなく、自己PRや面接での質疑応答など幅広い意味での「人対人」の対応力を高める。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	トークイベントに出演する際の心構え
【前期】 4～7回目	トークイベントを想定した実践形式 ※撮影後フィードバック
【前期】 8～10回目	自己表現トレーニング① 自己表現を行動・認知・感情の面から理解する
【前期】 11～13回目	質疑応答トレーニング① 相手の質問意図をくみ取り答えることについて体系立って学ぶ
【前期】 14～17回目	■前期試験:模擬面接/撮影後フィードバック 模擬面接の振り返り
【後期】 18～20回目	自己表現トレーニング② 自己と他者の違いを理解する
【後期】 21～24回目	質疑応答トレーニング② 応答の速さ、質を上げる反復トレーニングを行う
【後期】 25～27回目	オーディション対策・模擬面接/撮影後フィードバック
【後期】 28～30回目	バラエティ企画考案 MC実践
【後期】 31～34回目	■後期試験:バラエティ企画実践/撮影後フィードバック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「トーク技術/表現力/構成力/対応力/平常点」の5項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	話し方やテンポ、声量など自身の理想により近づけるためには、現時点の自身の表現力を認識した上で様々な事に取り組む必要があります。 撮影した映像をしっかりと確認し改善点を模索しながら理想の表現を実現させましょう。
備考	都度用意した原稿を使用